



新国会 櫻田基介 議員

市長の政治姿勢について

問 成東地区の中学校統合問題をごどのように判断されるのか伺います。

答 市長 成東中学校校舎の現状および当該地区の今後の児童生徒数の推移、さらには、市のまちづくり、何よりも子ども達の教育環境のことを考えた結果、成東中学校と成東東中学校の統合中学校は、成東中学校区の市街地に新設したいとの考えにたどり着きました。私の考えを市教育委員会に伝え、協議を進めたいと考えています。

問 成東中学校区の市街地に整備することですが、具体的な場所は考えているのか伺います。

答 市長 現時点で、特定の場所は考えておらず、今後検討していきます。

問 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（新過疎法）により、旧松尾町区域が過疎地域に指定されましたが、本市を取り巻く現状と今後の手続きについて伺います。

答 総合政策部長 本年4月の、山武市を含む追加指定により、県内では13市町、15区域が過疎地域となりました。全国では、65団体が新たに加わり、全1718市町村中の885団体、約51.5%が過疎地域に指定されています。今後は、県の過疎地域持続的発展方針に基づき、過疎地域持続的発展計画を定める必要があります。

その後、新過疎法に基づく財政的な支援措置を有効に活用しながら、さまざまな事業を実施していくことが可能となります。

問 現時点で予定している具体的な対象事業について伺います。

答 総合政策部長 令和4年度予算にて執行する事業を含めることができるため、旧松尾町区域で実施している排水対策事業や新校舎整備事業を発展計画に位置づけることで、予定していた財源を合併特例債から過疎対策事業債に切り替えることも可能となります。

消防防災対策について

問 市内の消火栓設置数とホース格納箱設置数について伺います。

答 総務部長 各地域における設置数およびホース格納箱設置率は、下表のとおりです。

問 令和2年度と令和3年度のホース格納箱の新設数および老朽化に

伴う交換数、また、その手続方法について伺います。

答 総務部長 令和2年度は新設が5か所、老朽化に伴う交換が7か所です。令和3年度は新設が2か所、老朽化に伴う交換が14か所です。

なお、その新設や交換は、消防団や区長からの要望書により予算措置を行い、実施しています。

問 地域によって設置数に差があるようですが、今後のホース格納箱の新設について、市の見解を伺います。

答 総務部長 地域のバランス等も考慮して、人家の密集している地区を中心に、計画的に設置したいと考えています。

【設置数およびホース格納箱の設置率】

地域	消火栓	ホース格納箱	設置率
成東地域	388か所	208か所	53.61%
山武地域	331か所	5か所	1.51%
蓮沼地域	119か所	37か所	31.09%
松尾地域	228か所	107か所	46.93%
市全体	1,066か所	357か所	33.49%

窓口業務の効率化について

問 窓口業務の市の施策について伺います。

答 市民部長 窓口自動案内シス

テムの導入やコンビニエンスストアでの証明書交付サービスを実施しています。コンビニエンスストア交付サービスは、マイナンバーカードを使用することで証明書が取得でき、窓口の混雑緩和や市民の利便性向上に寄与します。また、交付手数料は、市役所窓口よりも100円安く取得できます。

マイナンバーカードについて

問 本市のマイナンバーカードの交付状況について伺います。

答 市民部長 本年5月末日時点で、本市の交付累計は1万9870人、交付率が39.5%です。県平均の交付率は45.6%、全国平均（4月末日時点）の交付率は44.0%であり、これらを下回る状況です。そこで、今年度から、市内のスーパー等の集客力のある場所へ職員が赴き、買い物客を対象に、マイナンバーカードの申請案内および申請をサポートする取組を実施しています。

問 マイナンバーカードに口座情報

報を結びつけようとする国の意図およびその理由について伺います。
答 総合政策部長 個人の口座を事前に把握することで、感染症拡大や災害発生時の際、公的給付金を政府が速やかに振り込めるようにするためと聞いています。

代表質問



新国会 戸村勝敏 議員

森林整備について

問 台風被害に係る市内の森林整備の状況について伺います。

答 産業振興部長 はじめに、非赤枯性腐朽病によるサンブスギ被害林等の整備、造林、保育および間伐材搬出等を行う者を補助対象とする「サンブスギ林再生・資源循環促進事業」では、被害木の伐倒・搬出が2・94ヘクタール、被害木の運搬量が690立米です。

次に、材木の健全な成長を促進し、優良な森林を造成する森林所有者を補助対象とする「県単森林整備事業」では、人工林の地替え、植栽が1・49ヘクタール、間伐が0・39ヘクタール、発生材等の運搬量が582立米です。

最後に、市単独補助事業の、山林から搬出された木材の買取価格に補助を行う「木材流通システム助成事業」では、搬出量が1040・86トンです。

問 浦安市との間で締結した「森林整備に係る連携協定」のような取組をもっと増やすことで、森林整備をよ

り加速することが可能になると考えますが、市の見解を伺います。

答 市長 浦安市と締結した森林整備に関する協定は、本市にとっては森林整備の促進を、浦安市にとってはカーボン・オフセットの獲得をもたらす、両市にメリットがあるものです。

森林整備に関わる人材資源の不足等の状況から、双方がメリットを感じられる協定を多くの自治体と結ぶことは、困難であると考えます。

ただし、今回の連携では、サンブスギ加工製品を浦安市に提供できる機会を設けており、浦安市民の皆様に触れてもらい、その良さを感じていただき、サンブスギのブランド価値を高める一つの機会にしたいと考えています。

道路整備について

問 実門公民館から富里市方面に向かう、市道睦岡5号線は、生活道路としては道路幅が狭く、整備を要望する声がありますが、現在の状況を伺います。

答 建設環境部長 現時点では、道路整備の事業化には至っていませんが、令和2年11月に要望が出された後、区長立会いのもと状況確認を行いました。

また、その際には、緊急性等を考慮し、当該市道と県道八日市場八街線との接続付近の整備を優先している旨を説明し、時間をいただいている状況です。



新国会 齋藤昌秀 議員

窓口業務の効率化について

問 市役所の窓口では、証明書の手数料の支払いがどのように行われているのか伺います。

答 市民部長 市民課での例を挙げます。①窓口からお客様の呼び出し、②証明書を交付し、手数料として現金のお預かり、③職員がレジスターに打ち込み、お客様へレシートと釣銭のお渡しという流れです。

問 最近、コンビニエンスストアやスーパーなどの店舗では、セルフレジの導入が進み、支払い精算は、お客様自身で行うというスタイルが、普及してきているように感じます。

市役所でも、こうしたセルフレジを導入することで、窓口業務の効率化が図れるものと考えますが、市の見解を伺います。

答 市民部長 現在は、コロナ禍における感染症拡大防止のため、手数料支払い精算時の現金等の取扱の際には、手袋着用に加え、トレイによる受

渡しを行っています。

近頃では、現金の手渡しを要することなく、かつ、現金を投入すると、自動で釣銭が出てくる「非接触型タイプ」のレジスターも多く目にするようになり、これを運用できれば、感染症予防が図られ、さらには、窓口業務の効率化も図れるものと考えます。

現在使用しているレジスターの更新の際には、セルフレジの導入について検討していきます。

ヤングケアラー支援について

問 近年、全国的な問題となっているヤングケアラーですが、本市の現状と、学校における今後の支援方法について伺います。

答 市長 既存の体制を活かしながら、まずは、ヤングケアラーの現状と課題を把握して、知識を深め、本市に必要なとなる国の支援制度を受けられるよう努めていきます。

答 教育部長 教職員をはじめ、全小中学校に配置しているスクールカウンセラー等と連携し、ヤングケアラーという視点をしっかりと意識したうえで、児童生徒への学校生活における見守りやカウンセリングの実施等により、状況を把握し、必要な支援へとつなげていきたいと考えます。



わたなべ さとし
新正会 渡邊 聡 議員

安心安全メールの周知について

問 安心安全メールと山武市公式LINEの今後の周知方法を伺います。

答 総合政策部長 多くのの方に登録いただけるよう、各団体の集まりや学校・企業等に出向いて説明するなど、さまざまな周知を試みていきます。

道路整備について

問 日向の里から雨坪地先の市道日向307号線の間部部、約300メートルが整備されないうままであり、一部は応急的に対応されています。事業再開に向けて、現在の状況を伺います。

答 建設環境部長 今年度は、立竹木等の調査を予定しています。

駅周辺の整備について

問 第2次山武市総合計画の重点分野として、成東駅北側道路整備が明記されています。早期に事業化すべきと考えますが、現在の状況を伺います。

答 都市整備課長 令和3年6月

改訂の山武市都市計画マスタープランでは、都市計画道路和田新泉線を必要に応じて見直す旨、明記しました。また、必要な現況測量を昨年度実施しています。

問 都市計画道路としての事業化に向けた今後の進め方を伺います。

また、道路整備の事業化の時期はいつ頃を見込んでいるのか伺います。

答 都市整備課長 現在決定されている都市計画道路の変更手続きが必要となるため、今年度は、外部委託により、根拠資料や法定図書を作成を進め、その後、地元等への説明を経て手続きを開始したいと考えています。

なお、前述の変更手続きは、開始から約1年を要すると考えています。

問 日向駅周辺整備について、市の見解を伺います。

答 都市整備課長 地元の機運や市が事業化する必要性を含め、慎重に検討すべきと考えます。

学校の跡地利用に係る条件付き公募について

問 公募にて利活用業者を募集中の旧山武西小学校ですが、地域活動の拠点にもなっており、その活動への影響が懸念されます。市の見解を伺います。

答 総合政策部長 募集要項の中で、地域のお祭りや会議等の活動に、十分な配慮をするよう条件を設定しています。

関連質問

議場ってどんなところ？

議場は市役所3階にあり、市政全般にわたる重要事項は、ここで決定されます。

普段あまり目にする機会がない議場の中をご紹介します。

傍聴席から見た議場



山武市の議場は、議員と執行部（行政側）が向かい合う「対面式」の配置になっており、正面には、国旗と市旗が掲揚されています。

本会議は、3月・6月・9月・12月に定期的に行われる定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があります。

また、本会議は一般公開しており、どなたでも傍聴することができます。（傍聴規則に基づく入場制限あり）

議長席から見た議場



議員席後方に傍聴席を配置しています。傍聴を希望される方は、本会議当日に市役所3階までお越しください。（事前予約不要）

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、傍聴席数の削減、マスク着用、手指消毒、検温等を実施していますので、ご協力をお願いします。